社会医療法人
同仁会
Dojinkai
Social Medical Corporation

私たちの理念「一視同仁」

同仁会報みみはら

2024年４月１日発行
第137号

民医連

発行　社会医療法人同仁会　同仁会報編集委員会　〒590-0821　堺市堺区大仙西町６丁184-２
TEL 072(244)7260　FAX 072(247)0165　URL https://www.mimihara.or.jp（同仁会HP）

全日本民医連第46回定期総会 in沖縄

熱い気持ちにあふれた3日間

沖縄で2月に開催された全日本民医連の定期総会に出席しました。４年ぶりの集合形式で、みみはらグループからは９人の代議員が参加して、３日間にわたり第46期の総会方針案についての討論を行いました。総会期間中も議論をしながら修正や加筆がされ最終的に採決されました。こんなにも熱い議論をしながら方針案が練り上げられているのだなと正直驚きました。

全体会で報告を行う
河原林病院長

増田会長は、総会スローガンに込めた思いは非戦の訴え、人権を守り抜くこと、経営も含めて事業所を守り抜くことなのだと語られました。そしてケアする人とケアされる人の関係性の考え方である「ケアの倫理」を深めていくことが提唱されました。

記念講演は沖縄民医連レジェンド、仲西常雄生のお話でした。米軍統治下の沖縄での人びとたたかいの歴史と、沖縄民医連の歴史とともにたんでこられた先生のお話に本当に心が熱くなりました。「勝つことはあきらめないこと」「あわてず　ぶれず　あきらめず」との言葉に大いに励まされました。

総会２日目は13の分散会に別れて、それぞれの分科や事業所での取り組みや課題の報告と意見交換を行い、分散会全体で６流れを30を超える発言があり法人ました。同仁会から技術研修、事務職員育成、地域包括ケアシステム、医師の働き方改革、職員参加の経営、老健、みはらの経営改善、在宅クリニックの訪問診療、無料低額診療事業推進委員会の活動などのテーマで発言しました。

私は第８分散会の座長を担当したのですが、分散会当日の夜に座長団会議で分散会の総括を行い、その後深夜までかかって報告書を作成して、３日目の全体会で分散会報告発言を行うという、予想以上にハードな日程でした。

会期中の那覇は初夏を思わせる陽気でしたが、それ以上に熱い気持ちにあふれた総会となったこと、参加メンバー全員が発言してみんなが元気をもらって帰ってきたことをお伝えして報告といたします。

（耳原総合病院
病院長　河原林正敏）

定期総会に参加して

全国の繋がりが心強く、魅力ある組織の民医連

前回総会時は入職して間もなく、運動方針の理解すらなかなか進まなかったのですが、３年間民医連職員として関わり、様々な経験を経た今回は、土台を固められるような気持ちになりました。

１日目の沖縄民医連創設に携わられた仲西先生の記念講演では、つい50年前の沖縄で、米軍に占領され国民の人権が虐げられていたことに驚きました。そして今もなお沖縄を守る運動が続いていることを学びました。

〝命を守る運動とたたかいの中から沖縄民医連は生まれた〟という言葉から、地域に寄り添い、共に声を挙げることの意味を感じました。

２日目の分散会では、私も「同仁会の無料低額診療事業推進委員会の活動と感じている課題」というテーマで、当委員会が行っている広報活動と外国人医療や行政との連携における課題を発言しました。約60人の参加者へ伝えることができた、様々な活動や抱えている課題を聞けたことで、これからの活力となりました。

全国で活動する民医連の繋がりは心強く、魅力ある組織だと感じられた３日間でした。日々行っている活動は全国の一歩になると思いながら、地域の方々の権利を大切にしていきたいと思います。

（耳原総合病院
ＭＳＷ　窪田愛裕美）

３月18日に総合病院みみはらホールにて、全日本民医連総会報告会を開催しました。

全日本民医連理事の交代が紹介され、田端理事長が退任、河原林病院長が就任されました。

田端理事長から河原林病院長へ、「交流の機会が多くなるので、多くの悩みも共有しながら頑張ってほしい」とエールが送られバトンタッチです。

バトンタッチされました

最後に、田端理事長から参加者に向けて、前倒産やセラチア事故など、多くの問題に全日本民医連とともに歩んだ経過を振り返り、「多くの教訓をもとに〝みみはら2030年の樹〟があることを胸に邁進しよう」と呼びかけられました。